

STOP! バス廃止・減便



久元市長は広報紙KOBEで「現状のまま市バスを存続させることは困難」としながら、交通局への補助金を削減。さらに「路線廃止では、ますます人口が減る」としながら、市バスの廃止・減便をすすめています。4月からの大幅な廃止・減便には「これでは、この街で暮らしていけない」「高齢なので、立って乗車はできない」と悲鳴があがっています。本会議代表質疑で、大かわら鈴子議員は、「更なるバス路線の廃止・縮小、民間委託では、公営交通の責任は果たせない」と、市民サービス削減の中止を求めました。



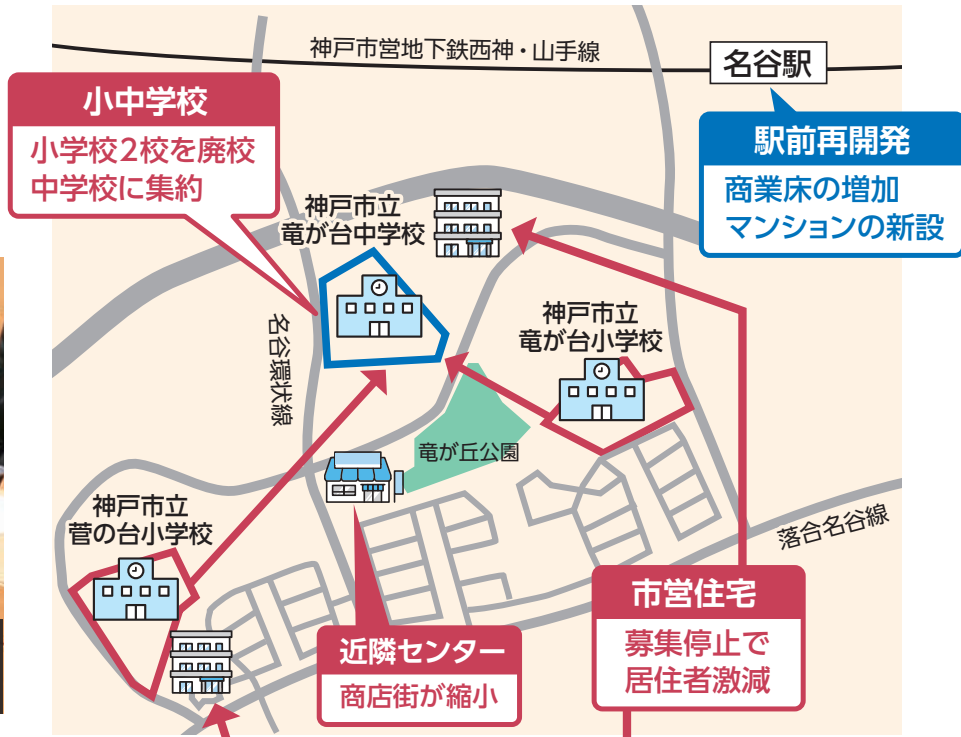
2月25日 代表質疑する
大かわら鈴子議員

駅前再開発の熱中では、 オールドタウン化の 苦難救えない

神戸市は、この間、都心・三宮だけでなく、各地で駅前再開発をすすめてきました。名谷地域は「定住人口の増加をめざす」としてきましたが、児童数の減少を理由に電が台小学校・菅の台小学校を廃止するとしています。予算特別委員会総括質疑で、味口としゆき議員は、「駅前だけ見違えるようになって、近隣の公共施設を次々に縮小しては負のスパイラルは止まらない」と指摘し、住み続けられるニュータウン対策への転換を求めました。



3月12日 総括質疑する
味口としゆき議員



維新の会の神戸市議が 「国保逃れ」 「脱法的行為」

日本維新の会に所属する神戸市議が、国民健康保険料や国民年金保険料の負担を回避するために脱法的な行為を行い、党から除名されました。国保逃れにとどまらずそのツケを他の国保加入者に押し付ける行為に対し、神戸市国保年金医療課も「制度の信頼性を失うもの」と語っています。日本共産党市会議員団は、日本維新の会市議団に対して、市民の不信を広げる行為について、真相を明らかにし、再発を防ぐための説明責任を果たすよう求めました。

日本共産党神戸市会議員団は3月6日、アメリカとイスラエルによるイラン攻撃の即時中止を求めて街頭宣伝をおこないました。



訴えをする日本共産党神戸市会議員団

非核「神戸方式」を守れ!!



大野さとみ中央区福祉子育て対策委員長と訴える
日本共産党神戸市会議員団

1975年に神戸市会が全会一致で、核艦船の入港を禁止する非核「神戸方式」を決議してから51周年の3月18日、アメリカのイラン攻撃など平和や自衛隊の派遣などが検討される中、「平和の宝・非核「神戸方式」を守れ」と原水協など平和団体のみなさんと一緒に訴えました。

お気軽にご相談ください 日本共産党神戸市会議員団

- 東灘区 松本のり子議員 414-8875
- 東灘区 西ただす議員 414-8875
- 灘区 味口としゆき議員 881-2581
- 兵庫区 大かわら鈴子議員 577-7987
- 北区 朝倉えつ子議員 591-4755
- 長田区 森本真議員 642-1466
- 須磨区 前田あきら議員 732-6578
- 垂水区 赤田かつのり議員 753-5287
- 西区 森田たき子議員 919-6650



今こそ 市民に寄り添う 神戸市に 物価高から市民を守ろう!

物価高騰で暮らし・営業が大変なもとで、政治の役割、神戸市の役割がいよいよ大切になっています。神戸市2026年度予算は、市民の暮らしの大変さに寄り添うものとはなっていません。物価高に苦しむ市民生活への応援は皆無に等しく、一方で三宮・都心には巨額の予算を計上しながら、さらに「人口減少」を口実に、バス路線の減便に象徴されるように、市民サービスを切り捨て「公共」の役割を投げ捨てています。日本共産党神戸市会議員団は、市民のみなさんの願いを一つでも実現するために、声なき声に耳をすまし、「現場主義」をつらぬき、市民・こどもの暮らしを応援し支えるために奮闘します。

物価高騰対策まで 「自助」「共助」

久元市長は、「困っている方を全て政府が責任を持って対応する社会ではない」と、物価高騰対策にたいする「公的責任」を投げ出しています。予算の柱である物価高騰対策は、食支援団体・NPOを通じた食糧配布、フードロス商品を安価で供給するフードロッカーの設置にとどまっています。本会議議案質疑で、森本真議員は、「困っている市民は、自ら足を運び必要なものを受け取れと言わんばかりだ」と、「自助」「共助」頼みの姿勢を厳しく批判しました。



2月17日 議案質疑する
森本真議員

神戸市を平和のとりでに

米国・トランプ政権によるイラク攻撃、ロシア・プーチン政権による4年に渡るウクライナ侵略など、世界は、かつてない重大な岐路に立っています。高市首相は、イラク攻撃を事実上支持し、憲法9条改悪など「戦争国家づくり」を推しすすめようとしています。市民から「平和をまもってほしい」「日本は大丈夫か」と不安・懸念の声があがっています。このもとで、非核「神戸方式」を守ってきた、平和都市・神戸市の役割がいよいよ重要になっています。ところが、神戸市は昨年3月に非核証明書未提出の米国艦船の入港を認め、さらに非核「神戸方式」を記念する集会の後援をとりやめました。本会議代表質疑で、赤田かつのり議員は、「港湾法が定めた自治体に委ねられた平和の精神を貫き、神戸港の軍事利用をさせてはならない」と求めました。



2月25日 代表質疑する
赤田かつのり議員

ついに実現!

市民と力を
あわせ、
願い実現



日本共産党神戸市会議員団

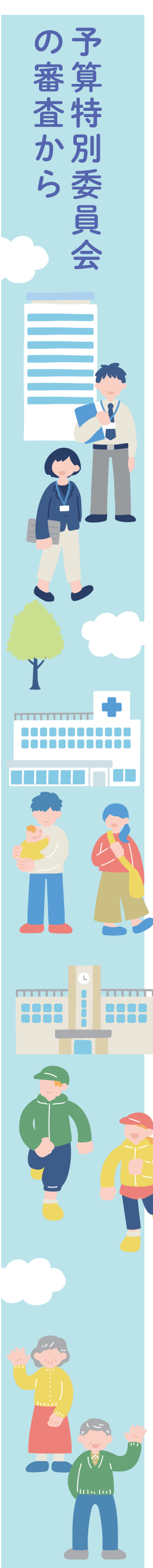
みんなで食べる、 あたたかい中学校給食

今年1月からみんなで食べる、あたたかい中学校給食が市内全校ではじまりました。長年、神戸市・教育委員会や議会与党は「愛情弁当」にこだわって、中学校給食を拒んでいました。保護者や市民と共同で9万人を超える署名を集め、議会でも何百回と質問するなかで、ついに世論の力で実現することができました。中学生から「給食が、あったかくなって美味しくなりました。ありがとう」との声もいただきました。

小学校給食の 無償化を実現! 引き続き中学校も無償化へ

4月からは、小学校給食が神戸市では無償化されます。国会では、自民・公明・維新の3党は当初の無償化を撤回したことで、国からは月5200円までしか補助が出なくなり、芦屋市など無償化をしない自治体も出ています。しかし、神戸市会では昨年12月の日本共産党市議の質問に「まずは小学校給食の無償化にとりくむ」と教育長が回答。不足する月1000円分は神戸市が公費で負担し、給食の質を落とさず、保護者負担ゼロで小学校給食無償化が実現できました。ここでもみなさんと一緒に集めた署名が力になりました。引き続き、中学校給食の無償化、さらには修学旅行費や制服代など教育費ゼロの神戸へ、頑張ります。





予算特別委員会
の審査から

2月26日 行財政局審査で質問する
松本のり子議員
東灘区選出

➔ 行財政局

公契約条例で神戸の賃金底上げを

公契約条例は、自治体が発注する工事等において、発注業者と労働者や下請業者の契約条件を定めるもので、自治体発注業務における「官製ワーキングプア」を解消することを目的としています。現在、熊本市を含む4つの政令市でこの条例が施行されています。
松本議員は、神戸市でも公契約条例を制定し、下請業者の労働者の賃金や労働条件を向上すべきと求めました。

2月27日 こども家庭局審査で質問する
西ただす議員
東灘区選出

➔ こども家庭局

18歳までこども医療費の無料化を

神戸市のこども医療費助成は、窓口負担があり、完全無料は2歳児までです。兵庫県の40市町では中学校卒業まで無料です。
西議員は、物価高で苦しむ子育て世帯の負担を減らすため、高校までの医療費無料化を早急に進めるよう求めました。

3月3日 建設局審査で質問する
味口としゆき議員
灘区選出

➔ 建設局

こどもの利益が最善となる計画への見直しを～王子公園～

王子公園の再整備計画で、弓道場の建替え工事により「ちびっこ広場」と「わんぱく広場」が来年2月中旬まで使用できなくなる計画について、子どもに犠牲を押し付けるのではなく、こどもの利益が最善となる計画への見直しを求めました。
味口議員は、市が大学誘致計画の前提とする関西学院大学の計画が明らかになっていない間に再整備だけ進めるのはおかしいと神戸市の姿勢を質しました。

3月9日 健康局審査で質問する
大かわら鈴子議員
兵庫区選出

➔ 健康局

健康ライフプラザ内の運動施設の継続を

兵庫駅南側にある健康ライフプラザ内のスポーツジムが今年に入って突然年度末で閉鎖すると発表。若い方から高齢者まで幅広い年齢層の市民が、フレイル予防、介護予防、健康を維持したいと、当施設のスポーツジムを利用されています。
大かわら議員は、利用者・区民の存続を求める要望に応え、神戸市として運動施設の継続ができるよう対策を求めました。

2月27日 企画調整局審査で質問する
森本真議員
長田区選出

➔ 企画調整局

丸山地域の衰退まねいた行政サービスの後退をやめよ

人口減少とともに空き家や空き地が増える「都市のスポンジ化」が進行しています。これにより生活利便性の低下や治安・景観の悪化が生じ、地域の魅力が失われています。神戸市は長田区の丸山地域で先行的な対策を進めるとしています。
森本議員は、学校の統廃合や路線バスのダイヤ縮小で地域の魅力を低下させてきた神戸市の施策を批判し、公的な責任を果たし行政サービスの維持を求めました。

2月26日 福祉局審査で質問する
朝倉えつ子議員
北区選出

➔ 福祉局

しあわせの村の理念ゆがめる計画は撤回を

しあわせの村は、市民福祉の推進を理念につくられましたが、この間、宿泊・研修施設の休止やシャトルバスの減便につづき、市バス120系統や66系統(しあわせの村行き)の廃止・減便まで計画されています。
朝倉議員は、民間による商業施設の誘致や施設の売却検討まで視野に入れたりリニューアル検討を批判し、理念に立ち戻った施設の改修と振興を求めました。

3月9日 建築住宅局審査で質問する
前田あきら議員
須磨区選出

➔ 建築住宅局

住宅価格高騰・家賃値下げへ支援を

分譲住宅の価格や賃貸住宅の家賃が高騰し、子育て世帯や若者、高齢者など幅広い市民の生活に影響が出ています。日本では住宅ローン減税はありますが、賃貸住宅への支援が貧弱です。
前田議員は、神戸公社賃貸でおこなっている最大月1万5千円の家賃補助を参考に、市内の賃貸住宅への家賃補助制度を創設することを提案しました。

3月9日 文化スポーツ局審査で質問する
赤田かつり議員
垂水区選出

➔ 文化スポーツ局

垂水図書館をまちの拠点として振興を

垂水区では、五色塚や、滝の茶屋、平磯緑地の万葉歌碑、そして大歳山遺跡など、名所や史跡があります。身近な場所にある区の図書館は、こうした区の文化や歴史を収集編集して区民に提供する拠点としての役割があります。しかし、神戸市は、新しい垂水区の図書館を外部に委託し、区の歴史資料の収集も少ない現状があります。
赤田議員は、区の図書館としての役割を発揮するためにも、神戸市の直営にもどし、図書館司書も安定した正規雇用の下で専門性を磨くことが求められると質しました。

3月4日 経済観光局審査で質問する
森田たき子議員
西区選出

➔ 経済観光局

安心して営むことができる農業振興へ

米不足、価格高騰の解決が急がれますが、担い手不足や水稻の作付面積減少が進んでいます。農家が安心して生産を続けられるよう、予算の増額が求められていますが、神戸市予算における農政費は全体の0.48%の44億円です。
森田議員は、西区の農家が燃料や飼料の価格高騰に苦しんでいることを指摘し、早急な直接支援が必要と求めました。

2026年度神戸市予算組み替え提案

大型開発を中止し、くらし応援へ

減額する主なもの

- ▼ 都心・三宮再整備 232.5億円
- ▼ 大阪湾岸道路西伸部事業 77.1億円
- ▼ 神戸空港の国際化 33.1億円
- ▼ 王子公園の再整備 44.1億円
- ▼ 須磨多間線工事 7.5億円
- ▼ 医療産業都市の推進 25.3億円

85億円以上財源をねん出

増額できる主なもの

- ▲ 高校卒業まで医療費無料 22.0億円
- ▲ 小中学校の修学旅行費や教材費無償化 22.8億円
- ▲ 小中学校の学校給食無償化 9.1億円
- ▲ 中学校の全学年で35人学級 7.9億円
- ▲ 給付型の奨学金制度の創設 7.0億円
- ▲ 国保料・介護保険料の負担軽減 23.0億円
- ▲ 敬老祝い金や生活保護世帯見舞金の復活 2.6億円
- ▲ 市バス路線の減便・廃止の中止 3.7億円
- ▲ 賃上げや中小事業者への支援金 19.0億円
- ▲ 住宅・店舗リフォーム助成の創設 8.0億円
- ▲ 学校・学童保育・特養など公共施設の増設 50.0億円
- ▲ 道路・橋梁の改修費用の増額 20.0億円

市債(借金)の発行の抑制 189.0億円

不足する財源は基金や予備費を活用

2026年2月議会での主な議案などへの主な各会派の態度	共産党	自民党	維新の会	公明党	立憲・国民
久元市長の提案する一般会計予算案	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
市バス減便計画をすすめる自動車事業会計予算案	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
18歳まで医療費無料にする条例修正案	賛成	反対	反対	反対	反対
賃上げや中小事業者への直接支援を求める請願	採択	不採択	不採択	不採択	不採択
核兵器禁止条約の批准を求める意見書	採択	不採択	不採択	継続審議	継続審議

※立憲・国民は会派「こうべ未来」